

着した組合でございますが、こちらのほうは高齢化しておりまして、なかなか担い手というのが確保できない状況が続いております。奴奈川森林組合につきましては、非常に今若い、担い手となる林業家の方が多く勤めていただいております、県外からも奴奈川森林組合に勤めていただいているということで、そうした方々が今後、糸魚川市の林業を担っていただけるというふうに期待しておりますし、またそういう人を増やせるよう、今後も奴奈川森林組合と協議しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

以上で、一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を50分といたします。

〈午後3時42分 休憩〉

〈午後3時50分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。よろしくお願いいたします。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、健やか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、今夏の異常な高温現象等に伴う対策について。

8月に入ってから少雨だけでなく、高温が続いています。市内産業や市民生活に著しく影響が出るのが懸念されるが、その対策について伺います。

(1) 県内各地でも渇水による農業用水の不足が報道されているが、市内の状況はどうか。

(2) 農産物における高温に伴う病虫害の発生が懸念されるが、市内の状況はどうか。

- (3) 海水温の上昇などで漁獲量の低下が懸念されているが、市内の漁港の状況はどうか。
- (4) 東北地方の福島では、処理水の放水が開始された。本市は日本海側で比較的遠隔の地であるが、全ての日本の水産物を一律に禁輸する中国などの国も現れている。このことで、市内の漁業に影響は見られるか。
- (5) 高温で養鶏や畜産などにも悪影響が懸念されているが、市内の状況はどうか。
- (6) これらの産業をサポートする具体策を検討しているか。
- (7) 高齢者を含めた熱中症の疑いのある搬送件数は、例年に比べどのような状況か。
- (8) 既に2学期が始まっている市内の小・中学校についても、十分な対策が必要と思われる。熱中症などの報告はないか。どのような配慮をしているのか。

2、糸魚川市デジタル地域通貨について。

糸魚川市デジタル地域通貨振興協会は8月21日、今年度中の導入を目指すデジタル地域通貨の名称を「翠（すい）ペイ」に決まったと発表した。今後の運用について伺います。

- (1) 導入しなければならない背景にあるものは何か。
- (2) いつから事業者を対象とした説明会や利用者向けの周知をするのか。また、どのくらいの規模・金額を見込んでいるのか。
- (3) 普及させるためにどのような特典を考えているのか。
- (4) スマートフォン操作が苦手な方や高齢の方にはどのようなことを考えているのか。

3、糸魚川市男女共同参画推進について。

性別に関係なく、多様な生き方を選択でき、個性と能力を発揮できる社会を実現するため、「いといがわ男女共同参画プラン」を策定し、関係機関、関係団体と連携して、各種事業に取り組むとあるが、現況について伺います。

- (1) 目標値はどのようにして算出しているのか。
- (2) 第3次いといがわ男女共同参画プランの進捗管理シートでは、ほとんどの項目で平成27年度の現状値から未達成であったことについて、その理由を把握しているか。
- (3) 女性が活躍できる基盤づくりにおいて、雇用等における男女平等の推進や働き方の見直しと仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進で障害となっているものは何だと捉えているか。
- (4) ハラスメント等を許さない意識啓発を推進するために、具体的にどのようなことを行っているのか。

4、再生エネルギーの活用・推進について。

地球温暖化防止のため、脱炭素の取組を地域産業の活性化につなげる必要があると考える。今後の展望について伺います。

- (1) 当市の豊かな水資源を生かし、事業の採算性など地域資源活用に係る可能性について、どのように捉えているか。
- (2) 地域経済の重点項目にはあるものの、当市がクリアしなければならない課題は何か。
- (3) 自治体新電力会社を設立し、エネルギーの地産地消の仕組みを構築できるのは、いつなのか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、水利の厳しい水田において、水不足の状況を確認いたしております。

2 点目につきましては、現時点では、病虫害の発生は確認されておりません。

3 点目につきましては、この夏の海水温の上昇を要因とした漁獲量の減少はないとお聞きしております。

4 点目につきましては、市内で漁獲された水産物は、主に鮮魚として国内消費向けに販売されていることから、直接的な影響は少ないと考えております。

5 点目につきましては、散水などの暑さ対策により、体調に問題はないと聞いております。

6 点目につきましては、状況を把握しながら、適切な時期での支援策について検討しております。

7 点目につきましては、8 月 31 日現在 50 人、うち 65 歳以上の高齢者は 36 人で、例年と比べて多くなっております。

8 点目につきましては、本日 1 件の報告がありました。各学校では児童生徒の健康観察を丁寧に行うとともに、小まめな水分補給や冷房を適切に使用するなどの配慮をいたしております。

2 番目の 1 点目につきましては、地域内消費の促進による地域経済の活性化及びデジタル化による地域課題の解決に向けて取組を進めているものであります。

2 点目につきましては、9 月下旬から事業者説明会を開催するとともに、利用者に対して周知を行ってまいります。

3 点目につきましては、本定例会に補正予算を計上いたしました普及促進キャンペーンのほか、行政ポイントや加盟店への決済端末等の導入支援を予定いたしております。

4 点目につきましては、スマートフォンのアプリケーションのほか、カードタイプも準備しており、多くの皆様からご利用いただきたいと考えております。

3 番目の 1 点目につきましては、国の成果目標等を参考に、糸魚川市の現状に合わせて設定しております。

2 点目につきましては、男女共同参画に対する市民の関心を高めることが必要であると捉えております。

3 点目につきましては、男性中心の働き方の見直しを図るために整備された法律の趣旨を踏まえ、今後も推進してまいります。

4 点目につきましては、相談窓口の設置やセミナーの開催等を行っております。

4 番目の 1 点目につきましては、中小水力発電として可能性のある河川が存在していると認識しております。

2 点目と 3 点目につきましては、電力市場の安定及び電源の確保が必要であり、動向を注視しておりますが、当面設立の予定はありません。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部課長からの答弁

もありますので、よろしくお願ひいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

順番に質問をさせていただき、2番目の2回目の質問に入ります。順番に行いたいと思っております。

利根川議員と田中議員の質問等で、ひび割れ地域が6.2ヘクタールあったと答弁がございましたけれども、ひび割れが深いものについては、今後、台風の状況、上陸も考えられるので、そういった土砂崩れのおそれもあると思うんですけれども、対策というのは早くできるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

ひび割れにつきましては、既にホームページでも公表しておりますし、農家の皆さんのほうにもご案内させていただいております。それで申請があれば、私ども農林水産課もそうですし、能生事務所、青海事務所でも窓口設置させていただきまして、申請をいただきました箇所につきましては、すぐにでも現場を確認させていただいて、支援に該当するひび割れであれば、すぐ農家さんのほうからまた業者のほう手配していただいでやっていただくということで、一日でも早い現場確認ということに努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今の答弁ですと、もうすぐに申請があれば、もうすぐ対処するよということで理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

言われますように、農家のほうから申請があれば、すぐに現地の確認に参りたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）、（1）に続けてなんですけども、一応コシヒカリなんですけども、例年に比べて1週間から10日ぐらい早く稲刈りをしているというふうに私の地域でも見受けられるんですけども、品質に関して、特に影響がないというような、先ほど何かそんなようなことをちらっと感じたんですけども、そこら辺の品質についての何か情報というんでしょうか、そういったものは入っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

水稻につきましては、例年に比べまして高温の日が続いておりまして、積算温度、積算日照時間等々も既に適期に入っておりますので、1週間程度稲刈りが早いかなというふうに思っております。

また、早く刈る理由といたしましては、高温の中に長く置きますと、胴割れということでお米が割れる被害が出てまいりますので、そうしたことで早く稲刈りするというのもございます。

ただ、品質につきましては、まだ稲刈りが始まったばかりです。これから精米いたしまして、農協のほうで品質確認して、具体的な結果が見えてくるかなというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）番に入ります。

先ほど市長の答弁では、病虫害では、特に発生がないといいますが、そのような答弁だったというふうに思いましたけれども、例えばカメムシだとか、そういった発生は、お米の生育や品質に影響を与えているというふうにちょっと私聞いてはおるんですけども、そこら辺は、その状況としては特に気にしないで、いつもどおりなのかということなんですけども、そこら辺はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

カメムシ等の病虫害につきましては、やはりお米の品質に大きく影響するものだと思っております。高温の中ですが、当然、農家の皆さん、田んぼの周りの草刈り等、一生懸命やっております。農家の皆さんのご努力もあるかと思いますが、今のところ大きな病虫害の発生がないというふうに現地のほうを確認しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

3番目でございます。この海水温の上昇等で、そんなに影響はないというような、先ほど市長の答弁でしたけれども、もともと漁獲量というのが均一的で、そんなにふだん大きくないというような、そういうふうにも捉えられるんですけども、そういうものなんでしょうか。そこら辺はどうなんでしょうか。やっぱり漁獲量自体はそんなに多くないと、多くないと変な言い方ですけども、そこら辺はどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

糸魚川市の漁業につきましては、県内でも胸を張れる漁獲量を誇っておりまして、非常に漁場としても優秀な漁場ですし、港につきましても、県、国の補助を頂く中で整備を進めております。そうした中で、今年私どもは、異常な暑さが続いておりますので、魚の種類ですとか漁場の変化ということで漁獲量が減ることを懸念しておりましたが、漁業組合のほうへ確認いたしますと、例年どおり、いわゆる日によりますけども、いわゆる豊漁の日が多いというふうに確認しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

先ほど、すいません、ちょっと言い方を、まずい言い方をしてしまいまして、大変失礼いたしました。非常に安定して、たくさん捕れているということで、大変申し訳ございませんが、訂正をいたします。

4番目でございます。これ国対国との関係ではあるんですけども、いわゆる嫌がらせ的なふうには、こう思われてしょうがないんですけども、そこら辺は、改めて市長はどのように思っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

国対国の中においては、いろんな事柄が起きておるわけでありまして、しかし、その冒頭の答弁にお答えさせていただいたように、当地域の魚は、国内消費というのが中心でございますので、そ

んな国と国とのいさかいとか、そういった中においての、課題の中に入っておりませんので、そういう変化はないとお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

5番目でございます。夏場は、生乳量というのが減るというふう聞いております。6月の定例会で補正を組んでもらいましたけれども、今後もしばらくは円安傾向が続くと思われて、今後もやはり支援策というのが必要になってくるかと思えますけれども、引き続きそういった支援策といいますか、そういったものの考えというのはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

燃油、肥料ですとか、あらゆる資材が高騰している中、一次産業は非常に厳しい状況を迎えております。本来であれば、かかった経費を価格転嫁できればいいんですけど、なかなか一次産業はそこが難しいということがございます。国のほうでも燃油ですとか飼料の高騰対策ということで、支援してまいりましたし、今後も一次産業の状況というのを確認しながら支援を検討していくと言っておりますので、市といたしましても、国・県の動向を見ながら適宜、適切な時期に支援できるよう努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひタイムリーに、施策を打っていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

7番目でございます。糸魚川市ではないんですけども、東京などでは、都市部では区役所なんかでは施設の一部をちょっと一般的に開放しまして、冷房だとか、冷房を備えた避難所を開いて、高齢者の方などが暑い日中を過ごせる対策でしょうかね、あとウォーターサーバーというんですか、天然水を設置しているということなんですけども、糸魚川市では、そういったことを考えるということの余地はないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今、議員が避難所というキーワードも出ましたので、ちょっと消防本部の立場としてちょっと避

難所だとかそういった観点で答えさせていただきます。

猛暑につきましては災害級と言われておりますが、例えば避難所を立ち上げるとか、高齢者等休養していただけるといったものは考えておりませんが、今後さらに猛暑が続くようなことがあれば、当然検討は、検討というか研究はしていかなければいけないのかなというふうに考えております。いずれにいたしましても、この猛暑はもっとひどくなっていくものと想像されますので、いろいろな面で検討していく必要があると思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

もう一つ、ついでというとな変な言い方ですけども、公共施設に限らないで、例えば寺社の本堂なんかを開放してもらって、冷房の電気料金などを市が負担する方法も考えられるんですけども、そういったこともちょっと検討してほしいなというふうに思うんですけど、そういった考えはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

では、私のほうからお答えさせていただきたいと思います。

今民間と寺社とかという物件のことも議員から言われましたが、まずは糸魚川市の公の施設がありますので、公民館ですとか図書館ですとか、そういった施設もありますので、やっぱり身近なところに出かけるような気風、せっかくの機会、施設でありますので、やっぱり交流というところも含めた中で、まずは公共施設のほうへ出かけていくと。そういった取組をさせていただいて、また民間のほうは、また随時という考えで進めさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

すいません、先ほどちょっと6番目の質問を言うのを忘れてしまいまして、ちょっと追加をさせていただきます。

農地の渇水だとか、この干ばつ対策の支援策を発表したんですけども、タイミングとしてはベストであったのか。それと対象工事のこのイメージの画像というんでしょうかね、私はちょっと、あまりイメージが湧かなかったので、できればその画像の添付だとか、そういったものもあってもいいんじゃないかなというふうに思いました。

それと、あと補助率ですかね、この根拠というのはどういうものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

支援内容の公表の時期につきまして、私どもといたしましても梅雨どきから梅雨明け以降に雨が降らないということで、8月にも各農家ですとか、地域のほう確認しておりました。確かに遅いというご意見もいただいております。私どもといたしましては、最善を尽くしたつもりでおりますけれども、やはり遅れておったというご意見をいただいている以上、そうしたご意見を真摯に受け止めて、今後の支援の、これからまた同じような災害等が発生したときの対応に活かしてまいりたいというふうに考えております。

あと画像ということだったんですが、田んぼのひび割れの映像かなというふうに考えておるんですけども、こちらにつきましても、私どもとしてはできるだけ分かりやすい絵ということで、提示させて、ホームページ等でも記載させていただいたんですが、また、農家の皆さんのご意見を伺いする中で、分かりづらい部分については、また改正、直していきたいというふうに考えております。以上となります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

8番目でございます。先月の22日に、北海道内の小学校で児童が倒れて亡くなったというような報道がありました。熱中症の疑いがあるというようなことでしたけれども、水分補給はして、行っていたというようなことだったんですけども、温度が33.5度もあって、新記録だったということで、そういう場合は無理に体育の授業というんでしょうか、無理にやることもないのかなというふうに思うんですけど、そこら辺は学校現場においても自由に変更というんでしょうかね、あるいは教育委員会としても自由に変更というんでしょうか、その場に応じて、変更してもいいんだよというような、そういうスタンスでいるんでしょうか、そこら辺はお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

熱中症警戒アラートや暑さ指数を基準として、各学校で一定の危険値になった場合、教育課程の変更といいますか、授業の変更等を適切に行うよう、6月、夏の初めですね、暑くなる前、それからまた、8月の2学期が始まる前に、また同じ文書なんですけど、改めて学校のほうに周知徹底を図りました。学校のほうでは、その指数を見て、授業内容を変更したりしております。また部活動も、夏休み中は、その指数を見て、中止にしたりという措置もしているそうです。

また他県ではありますが、部活動の帰りの途中に熱中症で亡くなってしまったという悲しい事件もありましたが、それなども踏まえて、中学校のほうでは、部活の後に1回冷房の部屋に入れて、体をクールダウンさせてから、子供を帰宅させるというような措置をしている学校もあったと聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今の答弁で、対策は取ってるよということは分かりました。今後ともよろしくお願いします。

来年度も高温現象が続くと思われます。市内の産業や市民生活に著しく影響が出るのが懸念されますので、早め早めのアナウンス、対策をお願いいたします。よろしくお願いします。

次に、糸魚川市のデジタル通貨、地域通貨について質問いたします。

このデジタル、地域通貨の名称が翠ペイとなったんですけれども、これは糸魚川市を代表するヒスイを連想することができて、親しみやすいと思うんですけれども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

糸魚川市、糸魚川のデジタル地域通貨の名称を翠ペイということで、代表するヒスイを連想できるということは、今、議員おっしゃられたとおりでございました。翠ペイ、このデジタル地域通貨自体は、お店で、通貨を使ってお支払いをしますよということの申告というのもまず必要になろうかと思っておりますので、そういった際にもスムーズにおっしゃっていただけるような通貨名ということで、親しみやすい名称といったところも意識をさせていただいたところがございます。市外の方へ向けにも、ヒスイという名称、印象を持っていただけるような名称ということで、国石ですとか県の石とか、そういった全国的な知名度も高いといったところも、そういったヒスイのイメージからも名称のほうは決めさせていただいたところがございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これスマートフォンのアプリだとか二次元コードを印刷したカードで利用する電子決済サービスと理解しておるんですけど、そのとおりでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

基本的には、スマートフォンのアプリケーションにお金を入れていただく、チャージをしていただいて、それでお店で決済をしていただくという形になります。それ以外に、二次元コードつきのカードというのも、スマートフォンをお持ちでない方向けに発行を考えておまして、そちらのほ

うをお持ちいただくと、お店のほうでそれを読み取っていただいて、支払いが可能になるというイメージで今のところ準備のほうを進めているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この運用というんでしょうかね、これをいつぐらいから始める予定でいるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

12月には、システムのほうを稼働できるように準備をして、スタートできるように準備を進めてまいりたいというふうに思っておりますけれども、スタート時期につきましては、現在の通貨、デジタル地域通貨の発行団体でありますデジタル地域通貨の振興協会のほうで検討して、決めていきたいというふうに考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、1月入ってからという、来年になってからという、そういう認識でよろしいんでしょうか。今の答弁ですと、そういうふうに理解したんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

議員のほうの1回目のご質問にもありますとおり、普及促進キャンペーンといったところも本定例会のほうで補正予算を計上させていただいております。そういったキャンペーンのタイミングとか、市内の経済の状況とか、そういったところを合わせながら検討して、日程のほうは固めていきたいというふうに思っているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

目的なんですけども、官民協働で、この地域内経済循環の基盤ツールとして、この電子地域通貨

を構築をして、人口減少及びアフターコロナ時代における持続可能な地域経済を目指すところなんですけども、そのとおりでよろしいでしょうか。この文書のとおりでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

行政といたしまして、地域内経済の循環、地域経済の活性化といったところが目的で間違いございません。地域内で期間を限定して、この地域通貨というのは使っていただけるということでございますので、市内経済の循環、それから地元消費の促進といったことが図れるのではないかとこのように期待しているものでございます。

それから、行政が求める取組に対しましても、市民が行動するきっかけとなるように、行政ポイントといった取組についても、この電子通貨のほうを活用してまいりたいというふうに考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この人口が増加しているとか、あるいは減少しているというような、風船が大きくなっていくのか、小さくしぼんでいくのかで状況が違ってくるかと思うんですけども、そこら辺のリスクというんでしょうか、そこら辺は考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

人口が減少する中ではございますけれども、この地域内経済の循環といったところは、必要などころ、行政としても支援をしてまいりたいといったところになってこようかと思えます。

市民の皆様からも地域内で消費を促進していただくといったところは、大切なところではないかというふうに思っているものでございます。リスクということで、この地域通貨のリスクということでお答えをさせていただくならば、先ほど申し上げましたように、お金をチャージしていただいて、それをお使いになられるかどうかといったところになりますので、基本的にはその原資というのは、発行母体である振興協会のほうに、お金のほうは留保されているというふうに考えているものでございまして、何らかちょっとリスクらしいリスクというのは見当たらないかなというふうには考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

経済効果として、1か月間今よりも1,000円多く地元で消費してもらえれば、人口が今糸魚川が3万9,000人ぐらいいるんですけども、年間としてそれを掛けた場合、4億6,800万円の、約4億7,000万円ぐらいの経済効果があるというふうに理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

議員おっしゃられた計算については、私どものほうでも地域内で通貨を回すといったところの試算をしているものではございませんけれども、先般、総務文教常任委員会のほうには、地域内で通貨が循環するという金額の想定を2,500万円、キャンペーンを打つものとして1500万円、おおむねトータル4,000万円ということで、換金手数料ですとか取扱いの手数料といったところを試算をさせていただいているところでございます。

先ほどのリスクにも絡んでまいりますけれども、いずれにしましても、この人口減少社会の中では、利用者の方々からお使いいただけるようにするには、加盟店が何店舗もあって、利用者の方の利便性に寄与するような仕組みでないとならないといったところは大切だと思っておりますので、加盟店の獲得には、力を入れてまいりたいというふうに考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今の段階で、入金する場所というんでしょうか、チャージする場所というのは、どこを想定されておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

現在の段階では、セブンイレブンのATM、それから、糸魚川信用組合でチャージをできるという状況で進めているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

思ったより少ないような気もするんですが、そこら辺は大丈夫なんでしょうか。市役所の中では駄目なんでしょうか、そういうものはないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

現在のところは、先ほど申し上げましたところでのチャージというふうを考えております。今後、利用店舗ですとか、また次年度に向けた取組の中で、利用される方の利便性を考慮する中で、配慮させていただく中で、どのようなところでチャージできるのがよいかといったところも、併せて詰めて検討してまいりたいというふうには考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

普及させるために特典というんでしょうかね、やっぱり何ていうかね、健康づくりだとか、あと清掃、環境活動をしたりとか、大糸線に乗らないと困るよねということもあったり、公共バスをやっぱり利用してもらいたいとか、そういったところで利用した場合に何かポイントが何かもらえるとか、そういうようなことをしていけば、割と、やっぱり大糸線は絶対なくしちゃいけないと私は思っておりますので、何かそういったものに活用できないものかと思うんですけど、そこら辺は考えてはいないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

公共交通を利用していただいた方にポイントという提案だと思います。お客様が増える要素になるかどうかというところも見極めながら、インシヤルコストというところもございますので、その辺は状況を見極めて、対応を考えたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

企画定住課のほうといたしますれば、最初のほうで申し上げましたように、様々な行政ポイントというご提案かと思っております。そういった取組というのは可能かなと思っております。

ただ、今ほど課長申し上げましたような視点というのも大切になってこようかと思っております。いず

れにしましても、市民の皆様から行動していただく、また地域で楽しみを感じてもらいながらポイントをためていただくといったことで、こういったツールも活用できるようになればというふうには考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（4）に行きます。私も、スマートフォンというんですかね、あんまり操作がよく分からないところもありまして、それとあまりカードを持ってないものなんですけど、かなり抵抗があるんですけどもね。それとあと、高齢者の方にかこつけて大変恐縮なんですけども、そういった高齢者の方にもかなり抵抗がやっぱりあるんじゃないかなと思うんですけども、そこら辺はやはり何かもうちょっと掘り下げて、普及するような対策というんでしょうか、策というものをやっぱり考えておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

国際的な流れ、消費者行動の流れとしましても、キャッシュレス化というのは避けて通れないところかなというふうにも考えてございます。

そういった中で、今回のデジタル地域通貨の導入に際しましては、スマートフォンの利用のほか、先ほど市長答弁で申しあげましたカードタイプでの利用ということも考えているところでございます。

ただ、将来的にはやはりスマートフォンを利用していただけるように、スマホ講座などで利便性も感じてもらいながら、利用促進を図っていければなというふうには考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この市内の経済の循環のほか、健康ポイントなんかとも連動しながら、様々な施策を図れるようにこのマイナンバーカードだとか、あとはスマホのアプリというんでしょうかね。そういったものを連動して、電子地域通貨制度を導入することなんですけれども。課題もあるかと思うんですけれども、いつの間にか忘れ去られてしまうことのないように、多額の税金を使ってシステムを構築するんで、ぜひ持続可能なものとなるように、していただきたいと思います。

次に、糸魚川市の男女共同参画推進について伺います。

この糸魚川市男女共同参画に関しての市民アンケートの回収率が39.7%であったと思うんですけれども、回収率が高いことに越したことはないと思うんですけれども、この数字自体は、データ的には問題ないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

お答えします。

確かに男女の市民アンケートのほうの回収率につきましては、議員さんおっしゃった数値となっております。

ただ、この数値については、特に低いというものではないというふうに私ども考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これだとある程度、今の答弁ですと、ある程度正確というんでしょうか、ある程度反映できるものだというふうに、生かされるというふうに理解してよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

議員おっしゃいますように、もちろん回収率高いほうが、より実情を反映した分析等にもつながりますし、施策への展開というのもスムーズにできると思います。

ただ、いろんなアンケートを採っている中で、残念ながら、どのアンケートも割と40%前後ぐらいが多いということで、私どもとしては、仮に何%であっても、一応市民の声ということで、その中でまた判断をしてみたいと思いますし、あまりにも低いという形であれば、それに代わるようなほかのアンケートをすとか、あるいは既存のアンケートの結果を見るとか、そういった形で補足というのは必要だというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

目標値なんですけども、特に高く、あるいは低くっていうか、恣意的に設定しているわけではないと思うんですけども、やっぱり根拠があって設定しているというふうに思いますけれども、そういう捉え方でよろしいんでしょうか。もうちょっとこの設定の根拠というんでしょうか、そこら辺をもう少し詳しく教えてほしいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

基本的にはアンケート等を通じた市の現状を踏まえて、目標を設定しているという形になります。

ただ、例えば各種審議会等における女性委員の割合につきましては、国のほうで2025年までに40%から60%くらいを目指していくというような大きな方向性が出ておりますので、若干市の現状からは少し背伸びしたような目標値ではあるんですけども、大きな目標として掲げさせていただいたということになります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）であります。一人一人がお互いに人権を尊重していかなければならないと思っておりますし、社会のあらゆる分野に共に参画して、それぞれの個性だとか能力を十分に発揮してもらって、多様な生き方が尊重される社会の実現が求められていると思います。

そういう中で、社会通念や慣習、しきたりは、社会の変化の中で変わりつつあるものの、根強く残っている部分があるように思いますが、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

今回の男女共同参画推進委員会の中で、かなり多くの目標値、目標指標が達成できてないという結果については、担当課として力不足の点というのは否めないというふうには考えております。

ただ、市民の意識啓発というところで、やはりやればやっただけ、それに結果が伴ってついてくるといってもありませんので、そこら辺は担当者としても悩みながら、また工夫を凝らしながら、毎年度、事業を進めているところでございます。

今、議員のおっしゃった習慣とか風習といった部分で、なかなか固定概念から飛び出せないところもございまして、今のような市民啓発の活動をやはり長く継続していくことによってということもありますし、また最近では、教育の面でそういう人権を尊重するといったところは、私どもの時代よりは手厚くなっているように感じますので、これからの時代、またいろんな面で変わってくる面もあるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

同じく関連になりますけれども、その調査項目のところに、市役所内での時間外勤務の年平均時間を目標値100時間となっているという項目があるんですけども、前年とほぼ同じ水準で達成できてないという項目があります。理由として、このイベントの復活や選挙対応があつて増加したというようなことで、対策として、人員の適正配置と業務内容の見直しが必要とあります。特定、私がちよつと心配するのは、特定の人が遅くまでいる傾向はないかということなんです。そこら辺は大丈夫なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

超過勤務につきましては、昨年度より一昨年度は、コロナの影響等がございまして若干減っておったんですけれども、やはりコロナ明けとともに増えてはきております。今おっしゃるとおり、人について回る超勤があるんじゃないかというご心配でございしますが、実態としては、超過勤務をつける、つけないという部分もありますけれども、仕事のやり方として、いわゆる遅くまで残る職員もおるとというのが実態でございします。その辺は、私から早く帰るように、もしくは必要であれば超勤をつけるようにというふうに指導しておるところでございします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

昔は、遅くまでいる職員というのは評価されていた一面ってのはあったと思うんですけど、今は早く定時に帰ることが評価されているというふうに思っております。特定の人が、いつも遅くいるということであれば、ちょっとやっぱり問題だし、そこら辺は改めて、やっぱり総務課長なり総務部長なり、ちょっと指導というんでしょうかね、各課に指導というか指示していただいたほうが私はいいいと思うんですけど、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

毎日、帰る時間を、7時以降に帰る職員につきましては、警備員のところで退出時間を記入することになってまして、翌朝必ず私と職員係長等が確認をしております。あまり遅い時間、基本的には9時、10時以降にはマーカーを引いて、そこを毎日見ておりまして、そこで確認をした上で、仕事上こう波がございしますので、今忙しいタイミングであるとか、1週間だけ忙しいという場合は、特段理由が分かれば指示はしませんけれども、常に忙しい職員については、それを見ながら、必ず指示、指導なりをしておるところでございまして、なかなかそれが反映する場合と反映しない場合がございしますけれども、諦めずにその指導は続けてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうやっぱり偏ってしまうとやっぱりよろしくないので、適正配分、人員配置といいましようかね、やっぱりいないのであれば人をもうちょっと補充というか協力してもらおうような体制を取って

もらいたいと思います。

(3)であります。特にこの中では、子育てだとか介護中であって、仕事が続けられるような雇用の形態だとか、こういった支援というのが必要だと思われるんですけども、やっぱり朝だとか帰りの時間を弾力的に変更できるような、そういったことが必要になっているんじゃないかと思うんですけど、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほど議員おっしゃるように、働き方改革ということで、様々な省庁がいろんな政策のほうを打っておりますが、今ほど厚労省のほうは、やはり女性活躍推進法に基づきまして、今「えるぼし」という認証制度のほうを行っております。

それは、やはり女性が働きやすい、魅力ある職場づくりをしているものを認定しているものでございます。これは県内に今30社認定されておまして、そのうちの1社は、市内にある企業が認定されております。

また、やはり子育ての関係は、子育てサポートをしている企業について、「くるみん」というかわいらしい名前になってるんですが、その認証制度もあります。これは、県内72事業所があるらしいんですが、残念ながら、まだ当市では、その認定を受けれる企業はございません。

また、働き方としましては、そういった若い方たちが、よく働けるような企業ということで、ユースエールの認定企業というのがあります。そのユースエールにつきましては、当市では2社認定されております。

やはり厚生労働省につきましては、男女雇用機会均等法等を見まして、様々な働き方改革を進めておると思います。その中で各企業、事業所に対しては、助成等を行っているというふうに認識しておりますので、私らとしましては、そのようなものの相談や、また情報の提供のほうに努めてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしく申し上げます。

(4)です。やはりこのハラスメントを許さない、この意識啓発というんでしょうか、それは、やっぱり男女共同参画に理解を深めるための学校教育の推進だとか、あるいは広報紙だとか、講演会などが有効と考えておりますけれども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

議員おっしゃいましたように、やはり学校教育、それから社会教育というような形で、一連で進めていくことも必要ではないかというふうに思っております。また、その中で私ども担当課としましては、研修会、セミナーそういったものを実施しておりますが、やはり市民への情報発信と、それからこういったことは許されないんだといった周知を丁寧に行っていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

社会のあらゆる分野で男女平等の意識を高めて、社会全体として平等感を高めるよう市民への啓発を引き続き行い、男女共同参画社会の実現を目指してほしいと思っております。

次に、再生エネルギー活用推進についてお伺いいたします。

(1)については、自治体の新電力事業では、当市の豊かな水資源を生かした自治体新電力会社設立に向けて、事業の採算性など地域資源活用に係る可能性について調査を行い、エネルギーの地産地消の実現に向けた取組を展開してまいりますと、令和4年度事務報告書に記載されています。再生可能エネルギーの発電分野でいいますと、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等がありますが、糸魚川市では、資源的に何が適していると考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

当市には、豊かな水資源がございますので、そういった水資源を生かした発電、それから太陽光あたりが、当市では有望ではないかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

1番目の質問で、高温現象にも関連してくると思うんですけども、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロにするというカーボンニュートラルを目指すことを宣言をしておるんですけども。達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作業の保全及び強化する必要があるとありまして、追い風にはなってるかと思うんですけども、そこら辺はいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

実際、私どもの取組というの、国の2050年までにカーボンニュートラルを目指すという大

きな方向性に基づいてやって、施策を実施しておりますので、追い風というところはあるとは思いますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

しかしながら、先ほど市長の答弁にもあったとおり、自治体新電力会社を設立し、エネルギーの地産地消の仕組みを構築できる、したいというようなことが、この糸魚川市の第三次総合計画の重点項目の、たしか33ページに、地域経済の項目に書いてあるんですけども、そこら辺は、整合性というんでしょうか、そこら辺はどのように捉えておるんでしょうか。このまま書いてあるとおりというんじゃないんですけど、何回も言うようなんですけど、お題目で終わってしまっておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

自治体新電力会社のことをお尋ねだと思っております。自治体新電力会社につきましては、令和4年、昨年度新会社設立に向けた調査を実施しております。その結果、電力市場が価格が高騰しておりまして、場合によっては、逆ザヤ、原価割れが生ずるということで、当面、自治体新電力会社を設立するという事は、望ましくないというふうに結論を出しております。しっかりと状況を見極める中で、また改めて対応を考えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

あんまり人んちの市を言うのもちょっと嫌なんですけども、妙高市でも、この地域の小水力発電導入の可能性を探った報告会があったと新聞報道がありました。やはりその背景には、同じだと思うんですけども、人口減少だとか高齢化で担い手不足、会費等の収入源が課題となる中、地域の水路や用水路に小水力発電施設を設置し、売電収入を地域づくりや施設の維持管理に充当するとあると書いてあるんですけども、やっぱり政策的にこれがいいと思えば、どうなんだろうかね、借金しても設備投資はしてかなきゃいけないと思うんですけど、そこら辺は、あまり考えていないんでしょうか。やはりこのまま原価割れで望ましくないからという、そういう消極的な考え方だと、いつまでたっても難しいのではないかと思うんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島環境生活課長。〔環境生活課長 木島美和子君登壇〕

○環境生活課長（木島美和子君）

私がさっき回答させていただいたのは、自治体新電力会社ということで回答させていただきました

た。これにつきましては、新潟県内では新潟市と柏崎市さんの2件というふうに理解しております。妙高市さんの例につきましては、ちょっと市としての取組なのか、ちょっといまいはっきりしませんので、ちょっと回答は差し控えたいと思いますが、自治体新電力会社であれば、初期投資がかかるからというよりは、もう経営赤字が今の状況では想定されるので、公的機関として赤字会社をつくるわけにはいかないから、今は設立はしない。その代わり、状況の変化というのを重視していきたいということでありまして、もし市民の皆様が、それでもいいということであればという考えもあるんですけども、ただ、行政機関としては、それは考えられないのかなというふうに考えております。

○議長（松尾徹郎君）

質問の途中でありますので、あらかじめお諮りいたします。

このままですと、午後5時を過ぎることが予想されますことから、本日の会議時間を延長したいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議時間を延長することに決しました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なんかやっぱりやってもらいたいですよね。なんかどうなんでしょうかね、何でも駄目ってわけじゃないんですけども、やっぱりこのままだとずっと糸魚川市はこのまんまで終わってしまって、やっぱり導入、実用までは、三、四年要するようなことも書いてございましたんで、やっぱり立ち上げたとしても、実用化されるまでには三、四年かかるのかなという、そんな感じなので、そうするともう米田市長も、市長さんではもう、もちろんね、次期も出られれば、それは選挙に強い米田市長でございますので、非常に心強いかなと思うんですけども。俺は知らんよみたいなことになっちゃうと、総合計画、ええっみたいなの、そういうような非常になおざりというんでしょうかね、非常にせっかく作った冊子が、非常に意味がないんでしょうね、大変もったいないと思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

自治体の新電力会社につきましては、その計画をつくるときと本当にならと変わっております。そのときには、つくって市民に還元できるもくろみにあったわけでございますが、価格が変化したことによって、これを逆に市民から頂いた税金をつぎ込んでいかなくちやいけない、逆になるわけ

であります。それをみすみす分かっていて取り組むわけにはいかないわけであります。

しかし、価格によっては取り組めるというのも分かってるわけでございますので、その辺がやっぱり様子を見ながら進めていきたいと思っております。今、決していいときではないと思っております。ご承知のとおり燃料価格も高騰しておるわけでございますし、物価高騰の中において、物が全て上がってきとる。そういう中で、この電力会社を変えるということは、非常に危険な、私は取組だと思っております。そのように、やはり時代に沿った、また時代を見ながら取り組むこともまた必要だろうと思っておる次第でございます。

また、中小水力発電につきましては、これもまたやはり初期投資、非常に大きくかかるわけありますので、その辺も我々は、有力な資源を生かす発電であるし、また市民還元もできる部分もあるわけありますので、それもやはりまた、これはまだしっかりと探りながら取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっと残念というか、言えばそのとおりなんでしょうけれども、大変ちょっと残念な答弁だなというふうに思います。糸魚川市が電力の発電、小売事業に参入することで、これまでエネルギーコストとして外部の電力会社に支払っていた料金を地域内のみで完了することは可能になり、これによって生じる地域経済の活性化も、自治体の電力事業参入で期待される効果の一つです。

また、電力設備を整備することは、新たな雇用の創出にもつながります。ある程度の価格競争力のある電力を確保することができれば、消費する地元企業などに電力コストを削減させ、その発展に寄与することができると思いますので、強く望みまして、一般質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後5時01分 延会〉